

12 月 2 日：銀行株が売られ、VN 指数は反落

取引終盤にかけて銀行セクターの大型株が急落したことで、VN 指数は反落した。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.21% 安の 1,482.05 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.46% 高の 1,485.19 ポイントで引けていた。

騰落別では 260 銘柄が下落、212 銘柄が上昇した。

出来高は前日と比べ減少し、売買高が 7 億 6,400 万株、売買代金は 23 兆ドン（10 億米ドル）となった。

VN30 指数は 0.58% 安の 1,540.88 ポイントとなった。

同指数採用銘柄のうち 17 銘柄が下落、13 銘柄が上昇した。

組入銘柄の中では、ビンホームズ（VHM）、ホアファットグループ（HPG）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、FPT グループ（FPT）、バオベトホールディングス（BVH）、リー冷蔵電気工業（REE）の売りが特に目立った。

その一方、ビンググループ（VIC）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ベトジェットエア（VJC）、マサングループ（MSN）といった一部の優良株は引き続き買われ、マーケットを下支えた。

銀行株は軟調な動きを見せ、マーケットの重しとなった。値下がり銘柄にはサコムバンク（STB）、サイゴンハノイ銀行（SHB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、軍隊商業銀行（MBB）、ヴィエティンバンク（CTG）、VP バンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、TP バンク（TPB）、リエンベトポストバンク（LPB）が含まれた。

FiinPro のデータによれば、国内の個人投資家は 11 月にホーチミン市場で 15 兆 2,000 億ドンを買った。買い越し額は前月と比べて 6.7 倍になった。

さらにオーダーマッチングによる取引は 144 億ドンに達した。これまでを振り返ると、国内の個人投資家は今年 11 カ月間で合わせて 84 兆 2,000 億ドンを買い越したことになる。

またセクター別では全 25 業種中、情報技術、銀行、石油ガス、証券、小売を含む 15 業種が下落した。

その一方で、値上がり業種には卸売、不動産、ヘルスケア、農業、食品飲料、ゴム製品、水産加工が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.53% 高の 458.23 ポイントで取引を終えた。

売買高は約 1 億 2,400 万株、売買代金は約 3 兆ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。